

発刊にあたって

運輸安全委員会は、航空、鉄道及び船舶の事故並びに事故の兆候の原因を科学的に究明し、公正・中立の立場から事故等の防止と被害の軽減に寄与するため、独立性の高い専門の調査機関として、昨年10月に発足いたしました。

あらゆる分野において、安全・安心への関心が高まる中、運輸分野における安全性向上への皆様の期待も大きなものがあると感じております。

そのため、事故等調査にあたっては、徹底した原因究明を行い、再発防止及び被害軽減に資するため、調査を行ったすべての事故等の調査結果を報告書としてとりまとめ、国土交通大臣に提出するとともに公表しております。

また、調査結果に基づき、事故等の防止並びに被害の軽減のため講じるべき施策又は措置について、関係行政機関や事故等の原因関係者に勧告し、又は意見を述べることにより、改善を求めることができます。

運輸安全委員会は発足後1年を迎え、この間、新たな調査対象に加えられた船舶事故等調査においては、本年1月に第1号となる報告書を公表しました。また、必要があると認めるときは、行政機関の長等に対して意見を述べてきております。

今般、このような運輸安全委員会の活動全般を紹介するため、「運輸安全委員会年報 2009」を発刊することとしました。本年報では、運輸安全委員会の設置の経緯、平成20年の航空、鉄道及び船舶の事故等の調査状況及び国際的な取り組みなどについて紹介しています。事故等の教訓の共有が、事故等の再発防止と被害の軽減に資するものと存じます。

今後とも、運輸安全委員会へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成 21 年 10 月 運輸安全委員会

委員長 後藤昇弘